



## 鳥取市教育センターだより

第11号 平成27年3月11日発行

〒680-0053

鳥取市寺町150番地

TEL 0857-36-6060

FAX 0857-26-3878

E-mail kyo-center@city.tottori.lg.jp

### 根を張る基

未曾有の被害をもたらした東日本大震災から4年が経ちました。地震や津波の被害等で亡くなられた方のご遺族や、現在も避難生活を余儀なくされている方など、今もなお多くの方がこの震災と向き合っ前向きな気持ちを持ち続けながら生きておられる姿を見るたびに、私たちにできることは何なのかを改めて考えさせられます。

さて、辺りに目をやると春の訪れを待ちわびていた桜がつぼみを膨らませ、野山の草木からも春の息吹が感じられる季節を迎えました。冬の寒さや降雪に耐えながら、大地にしっかりと根を下ろし、このときを待っていたのでしょうか。私たちはとかくきれいに咲き誇る桜や萌木色の若草に心を奪われるものですが、その陰には冬を乗り越え、この春を迎えるために幹・枝・葉・花を支え続けてきた根があつてこそだと思ひます。皆さんも聞いたことがあるとは思ひますが、牡蠣の養殖業者など、近海で漁業や養殖業を営んでいる方が近くの山に植樹されています。植樹をすることで、山から海に流れ込む水にミネラル等が豊富に溶け込み、海の生き物に好影響をもたらすのだそうです。また、農業（野菜づくり等）は土作りで決まるといわれています。おいしい牡蠣の基となる海水、そしておいしい野菜の基となる土、素敵な人の基になる根・・・この見えなところにとれだけ心血を注ぐかが大切なのでしょう。しかし、あくまでも根を張るのは子どもたちです。子どもたちが素敵な花を咲かせるためにしっかりと自分の根が張れるように、私たち教員や大人にとって必要なことは、適度の養分や硬さのある土地作りをすることでしょう。ときには優しくそして厳しく、先人の生き方に学び自分の生き方を思い描き、大いに喜び大いに悩み・・・こういった日々の積み重ねが自分の根を張る基になるのでしょう。



# 教育支援係

## 【早期からの教育相談・支援体制構築事業（H26・27） ～早期支援コーディネーターの取り組み～】

鳥取市は、特別な支援が必要となる可能性のある子ども及びその保護者に対して、幼稚園から中学校卒業までの柔軟できめ細やかな対応を図る支援体制の構築に向け、3つの推進中学校区と教育センターに早期支援コーディネーターを配置しています。

教育センターのコーディネーターは、幼稚園から小学校への就学移行期の早期からの情報提供や就学相談などの支援体制の構築をめざし、次の内容に取り組みました。

### 早期からの情報提供による支援

- 就学移行支援モデルプログラム & 就学後のフォローアップ（3課会の『育ちをつなぐ』に掲載）
- 子育て支援・就学関係の情報提供
- 幼稚園の教職員への理解啓発
- 5歳児健診との連携



### 就学移行期における支援

- 学校見学
- 就学期における個別の教育支援計画の作成・活用
- 関係機関との連携移行
- 就学校への引き継ぎ（個別移行支援会議等）
- 就学後のフォローアップ（関係者連携会議）

### 就学相談の実施

- 各機関と連携した早期の教育相談の開催
  - ・幼稚園
  - ・小学校
  - ・県教育センター
  - ・こども発達・家庭支援センター
- 就学時健康診断との連携



市関係機関  
3課連携

こども発達・  
家庭支援センター

学校教育課  
教育センター

児童家庭課

小学校から園に出向き、配慮を要する園児の観察や情報交換を行うなど、園と小学校との引き継ぎ体制ができつつあります。受ける学校側は校内体制を整え、入学後のスムーズな適応につなげていただきますようお願いいたします。

## 【ひらがな音読支援】

「ひらがな音読支援」の実施につきましては、1年間ありがとうございました。

1～3回目の結果は次のとおりでした。

平成26年度「鳥取大学方式ひらがな音読指導」結果概要 H27. 2. 26				
回数	実施者数	要支援者数	改善率%	支援者%
1回目(6月下旬) 直音連続読み	1,692人	147人		8.69
2回目(11月上旬) 直音連続読み 単音連続読み	1,695人	131人	57.82	7.73
		改善者:85人 継続支援者:62人 新規支援者:69人		
3回目(1月中旬) 単音連続読み 単文音読	1,695人	62人	74.81	3.66
		改善者:98人 継続支援者:33人 再支援者:7人 新規支援者:22人		

現在、3回目に初めて基準に達することができなかった児童(22人)が、タブレット等を使用した音読支援(5分間・21回)に取り組んでいます。

鳥取大学の研究によると、最終的に音読支援の効果が見られない児童は約3%というデータが得られていますが、現在のタブレット支援で半数の児童が改善されれば、今年度は3%を下回ることが予想されます。

学校によっては、基準に達していても不安が残る児童には、タブレットによる支援を行うなど、積極的な活用も行われています。このようないねいな取り組みのおかげで大きな効果が得られ、ひらがなの読みが不十分な状態で2年生に進級するという状態が軽減されました。

継続的な支援が必要な児童については、学校と協議しながら、今後の有効な支援について検討していきたいと考えています。



## 研修企画係

### English World

2月28日(土)に、小学校4～6年生38名とALT等15名が、2月の行事にちなんだ活動を楽しみました。参加者全員が「楽しかった」「また参加したい」と感じ、本年度最後の充実したEnglish Worldとなりました。



# きなんせ!

本年度 English World を4回、キャラバンを12回実施し、あわせて約1,900名の児童が、外国人と英語でコミュニケーションできた喜びを体験しました。各学校でも、ALTや支援員等の訪問を活用し、児童の自信や意欲につながる活動が行われることを期待しています。

### English World キャラバン

湖南学園(2月4日)

外国と日本の伝統文化交流など、英語でさまざまな体験を行いました。



宝木小学校(2月25日)

1～6年の縦割りグループでの活動や英会話を楽しみました。

### 先生のためのEnglish World

2月20日(金)、第4回目の研修を実施しました。先生方も、ALTとのアクティビティや会話など、英語のコミュニケーション能力を高める研修で大いに盛り上がりました。



## ～教師力・組織力アップにつながる研修を～

今年度教育センターでは、講師研修会の他、学級経営や小中一貫教育等、協議・演習を中心とした実践的な研修を実施しました。ご参加、ご協力ありがとうございました。

研修は、個人個人にとどまるのではなく、教職員の間で内容を共有し、切磋琢磨しながら実践することで、その成果が上がるものです。

- ★「話し合う」－事例をもとに解決策を出し合うワークショップ型の研修を行いましょう。
- ★「学び合う」－若い教員の研修に中堅教員等が関わることで、指導力を高めましょう。

来年度は、より一層内容や実施方法を工夫し、学校に役立つ研修・支援を行いたいと考えています。